

6次産業化部門

滋賀県竜王町 有限会社古株牧場
(代表取締役： こかぶ 古株 はるあき 治明 氏)



- 経営規模：43ha（水稲34ha、麦8ha、大豆1ha）、乳牛50頭、肉用牛550頭

(注) 数字は平成30年当時のもの

経営展開のポイント

- ・ 水稲、酪農、肉用牛に自家生乳を用いた乳製品の加工・販売を加えた複合経営を展開。「牧場に来て牛乳を生産する牛を見て欲しい」というこだわりのもと、「地に足をつけた農業」をコンセプトに地域でいち早く6次産業化を実践。
- ・ ソフトクリームやジェラート、チーズ、ピザなど来客の要望を汲み取った商品開発のほか、従業員を国内外の研修に派遣するなど常に新たな取組と高品質の加工品づくりに挑むとともに、売上の着実な向上を実現。
- ・ 平成17年に農場内にジェラートショップ「湖華舞」を開設後、良質な生乳のみを使用した乳製品が消費者から高く評価され、22年には近隣に進出したアウトレットパークに2号店、29年には3号店を出店。
- ・ チーズやピザ作りなどの食育体験のほか、地元観光協会と連携した水稲栽培体験ツアーの実施など消費者交流による農業への理解促進活動にも注力。離農農家から条件を問わず農地を引き受けたり、稲わらを収集して牛糞を還元する循環型農業を展開するなど、地域農業へも貢献。
- ・ 現社長の就農と同時に肉用牛部門を拡大。近江牛のブランド力を生かし、出荷する肉用牛のうち約3割をシンガポール、タイ、マカオ、台湾などに輸出するなど、販路を拡大。